

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人大阪市東成区社会福祉協議会

I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

1 法人運営事業

(事業活動支出 9,742,929 円)

法人組織内一丸となって感染予防対策を講じながら、地域社会への貢献と積極的な情報公開に努め、開かれた法人運営に向け組織連携強化を図った。

(職員体制 市社協出向職員 14 人/嘱託職員 23 人/非常勤職員 24 人/派遣 5 人)

法人会議開催日	理事会	令和 6 年 5 月 28 日(木)	令和 6 年 6 月 14 日(金)	令和 6 年 10 月 15 日(火) ※書面
		令和 6 年 12 月 12 日(木) ※書面	令和 7 年 3 月 27 日(木)	
	評議員会	令和 6 年 6 月 14 日(金)	令和 7 年 3 月 27 日(木)	

(1) 会員の拡充 会費収入計 2,326,660 円

(2) 調査・研究活動

ア 各事業における参加者、従事者等へのアンケート実施によるニーズ把握に努めた。

イ アンケート、統計調査依頼にかかる協力（回答）等を行った。

全社協、府社協、大阪市（関係局・課）、大阪市社協、その他（民間調査機関）

(3) 人材育成

ア 内部研修の充実、外部研修・会議・連絡会・講習会等への参加

イ 各事業管理者（包括支援・居宅介護支援・通所介護）集団指導、各連絡会等への参加・出席

ウ 保育士・社会福祉士実習生の受け入れ

(4) 広報活動の充実

ア 広報紙 社協だより「ひがしなり」の発行（年 2 回：10 月・2 月）

イ 情報発信 ホームページ 新着情報・注目情報

*Facebook・X・Instagram での情報発信随時

ウ 子育て支援情報紙「ふれあい子育てねっと」発行（年 6 回／奇数月発行）

エ きづくちゃん”の区内でのふれあい・交流参加広報活動

安心安全フェスタ

オ 館内ロビー掲示板、カタログ閲覧、オープン相談スペースの活用

(5) 共同募金運動への協力 【令和 6 年度 共同募金総額 6,376,228 円】

ア 大阪府共同募金会と地区募金会との事務連絡調整

イ 募集案内の広報・周知、募金の受付、専用経理ソフトでの資金管理と年度決算報告

ウ 募金型自動販売機の設置による売上金の一部寄付実績

R5.12 月～R6.11 月 合計 11,606 円

(6) 日本赤十字社の活動への協力

ア 日本赤十字社大阪府支部との事務連絡調整、資材の配布、社資募集と義援金の受付

イ 東成区赤十字奉仕団の事務費管理

I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

2 善意銀行事業

(事業活動支出 860,572 円)

区民の皆様や団体、企業の方などからの寄付を、地域福祉向上・推進のため助成金払出しにより活用。

(1) 寄付金及び払出実績

ア 預託寄付数 3 件 1,110,600 円／物品寄付 なし

イ 預託払出 3 件 514,427 円

- ・ 東成区青少年育成推進会議啓発イベント開催経費
- ・ 東成区スポーツ推進協議会ニュースポーツ体験開催経費
- ・ 東成区地域福祉活動推進支援助成事業負担金

ウ 事務費 346,145 円

- ・ 短期貸出事業車椅子購入経費／短期貸出事業車椅子修繕経費ほか

3 福祉募金事業

(事業活動支出 1,176,749 円)

募金実績による東成区地域女性団体協議会と校下社協への助成金に加え、区レベルの地域福祉活動団体の活動支援を目的とした助成に活用。

(1) 募金及び助成実績

ア 募金実績 1,520,295 円

イ 助成額 1,170,699 円 (11 校下・9 団体)

ウ 事務費 6,050 円

4 区地域福祉活動支援事業交付金

(事業活動支出 47,357,086 円)

コロナ禍での地域福祉活動を推進するために、校下社会福祉協議会等の役員や地域福祉活動者に対して情報提供や地域福祉活動再開に向けた支援を実施。

(1) 地域福祉活動に対する助言・指導等事業

ア 地域福祉活動の状況把握と支援や情報提供

- ・ 校下社協・地区ネットワーク委員会等の役員への運営支援、地域福祉活動者の活動支援。
また、地域福祉活動に関する助言指導、情報提供。
- ・ 校下社協・地区ネットワーク委員会等が、地域で実施している「見守り・声かけ活動」「ふれあい型高齢者食事サービス事業」「ふれあい喫茶活動」「子育て支援活動」の状況を把握し、活動者とともに活動方法について検討し、それに伴う活動者への助言、指導を行った。

イ 地域福祉活動にかかわる役員・活動者を対象とした研修会等の開催及び支援

- ・ 校下社協、地区ネットワーク委員会の役員、活動者、ボランティアを対象とし、地域福祉活動の充実・発展を目的とした研修会を開催し、福祉課題の解決方法について情報提供や活動者への支援を行った。
- ・ 「住民同士の助け合い・支え合い活動について」をテーマに校下社協・地区ネットワーク委員会の役員、活動者、ボランティアをはじめ区民を対象とした社会福祉講演会を開催しながらや支え合いの大切さ、まちを元気にしていくにはどのようなことができるかを共に考える機会となった。
- ・ 見守り相談室との連携により 2 校下で「みまもり声かけ訓練」を実施した。

I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

ウ 東成区地域福祉ビジョン・東成区地域福祉アクションプラン等の推進

- ・ 東成区地域保健、地域福祉ビジョンの推進、区役所との連携協定会議において、地域福祉課題の解決に向けて検討し、情報共有を行った。

エ 地域支援システム等の検討・推進への参画

- ・ 東成区地域包括ケアシステム等における会議、障がい者自立支援協議会等へ参加し地域福祉課題を把握するとともに、地域福祉の推進について検討を行った。
- ・ 各地域において、地域ケアネットワーク連絡会を地区ネットワーク委員・民生委員、区役所、福祉や介護の専門職と開催し、地域福祉課題の状況把握、個別支援の情報共有をはかり解決に向け検討を行った。

【各校下地域ケアネットワーク連絡会 開催状況】

開催回数	参加者数(延べ)	内訳(延べ)	
90 回	967 人	地 域	346 人
		区役所・専門職	314 人
		区社協	307 人

オ 広報・啓発

- ・ 広報紙 社協だより「ひがしなり」 2回発行（84・85号）
- ・ 子育て支援情報紙（年6回発行）
- ・ 各地域子育てサロン活動案内、区子育てイベント案内など掲載
- ・ ホームページの更新：37回／Facebookでの情報発信：37回

(2) ボランティア活動等の支援事業

ア ボランティア活動の支援

- ・ デイサービスや区内施設からボランティアの活動依頼があり、活動の需給調整。
- ・ 子ども・子育てプラザや区役所、子育て支援センターから一時保育のボランティア活動依頼があり、登録している個人ボランティアで活動の需給調整。
- ・ ボランティアグループのメンバー募集のチラシの作成や活動について周知協力。
- ・ 新しいボランティア活動者の登録促進、ボランティア講座の開催。

イ 小、中学生や地域住民等を対象とした福祉教育の推進及び啓発

「障がいのある人もない人も、地域で、社会で、ともに助け合ってともに生きていく」という考え方を持つことができるきっかけとなるような福祉教育を実施。

- ・ 東小橋小学校3年生
 - 第1回目 パラスポーツ「ボッチャ」体験
 - 第2回目 聴覚障がい当事者と手話ボランティアの講話、手話体験
 - 第3回目 視覚障がい当事者（盲導犬ユーザー）の講話、アイマスク手引き体験
- ・ 北中道小学校5年生
 - 視覚障がい当事者（盲導犬ユーザー）の講話、高齢者疑似体験

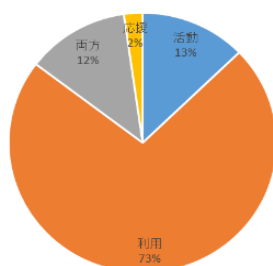
I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

- ・ 片江小学校 5 年生
車いす体験、自立生活センターおおさかひがし当事者による講話
- ・ 本庄中学校 2 年生
自立生活センターおおさかひがし当事者による講話、アイマスクとボッチャ体験
- ・ 玉津中学校 1 年生
第 1 回目 視覚障がい当事者（盲導犬ユーザー）の講話
第 2 回目 アイマスク手引き体験

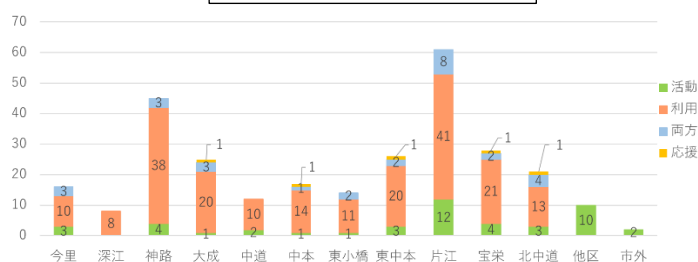
ウ きづくちゃん「たすけ愛」活動の会(会員同士の有償による助け合い活動)事務局

- ・ 活動を通じて、暮らしの中のちょっとした困りごとの解決やつながりづくりを推進。
- ・ 年間活動件数 520 件
(内訳：家事 270 件/買物 212 件/外出 36 件/交流 1 件/その他 1 件)
- ・ 会員数 285 人（男性 64 人：女性 221 人）内：新規会員登録者数 21 人
(内訳：活動 46 人/利用 206 人/両方 28 人/応援 5 人)

令和 6 年度の会員状況



令和 6 年度の活動実績



(3) 地域福祉推進のための連絡調整

地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議

ア 区地域包括ケアシステム関連会議及び精神障がい者地域生活支援センター運営委員会等に参加し、地域福祉課題の状況把握を行い課題解決に向けて検討、協議した。

イ 地域自立支援協議会に参加。地域福祉課題の状況を把握し、課題解決に向け協議した。

(4) 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等

ア 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置に向けて、区役所等関係機関との連絡調整し、研修会に参加（1 回）

イ 「区災害ボランティア活動支援センター」設置に必要な器具・備品等購入

(5) 車いす等の貸出事業

ア 車いす貸出事業

各校下社協の協力を得ながら、高齢者、障がい者(児)、一時的な病気やけがなどで歩行困難な方に車いすの短期貸出を実施。

- ・ 年間貸出件数 127 件



I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

5 共同募金配分金事業

(事業活動支出 5,931,022 円)

共同募金配分金を活用し、高齢者福祉事業等を推進することで、それぞれが孤立することなく、また、つながりづくりなどができるよう事業を実施。

(1) 高齢者福祉事業

ア 高齢者福祉月間の推進及び金婚お祝い

- ・ 高齢者福祉月間 各地域において開催の敬老会等への支援
- ・ 金婚夫婦への祝記念品の贈呈 全校下対象計 119 組



(2) 児童・青少年福祉事業

ア 東成区民まつりへの出展・参加



(3) 障がい者(児)福祉事業

ア 緊急用食料品等給付事業

- ・ 40代2人、50代2人、60代1人、70代3人、80代1人の合計9人に対し、緊急時の支援を実施。認知症の高齢者、制度の狭間の方々に対し、3日分の缶詰やお米を提供。

また、ケースワーカーとの連携、配食サービス等の情報提供、生活の立て直しに必要な支援を行った。

イ 就職面接時整容準備事業(就職面接用スーツの給付等)

- ・ 就職に向けた準備に関する相談及び給付実績…20代1人

(4) 福祉育成・援助事業

ア 東成福祉まつり「ふれあい講演会」の開催

誰もが認め合い、支え合い、つながり合うことができる東成区の福祉のまちづくりをめざし、さまざまな区民の出会いと交流の場を創出する。今年度、同目的の「ふれあい広場」の中止に伴い、代替事業として実施する。



- ・ 開催日：令和7年2月26日(水)14時～15時30分
- ・ 開催場所：コミ協ひがしなり区民センター 6階小ホール
- ・ 来場者：100人

イ 校下社会福祉協議会の活動支援

- ・ 各校下社会福祉協議会が実施する継続的な地域福祉活動や敬老会等に配分助成し、敬老会等の地域福祉活動を支援した。

ウ 民生委員協議会の活動支援

- ・ 各地区民生委員協議会が実施する児童施設友愛訪問事業等へ配分助成。

エ 社会福祉講演会の開催

- ・ 開催日：令和7年2月15日(土)
- ・ 開催場所：コミ協ひがしなり区民センター 6階小ホール
- ・ 来場者：76人



I 法人運営事業及び地域福祉推進事業

- ・ 内 容：「自分らしく、誰もが安心して東成区で暮らしていくために～
コロナ禍を乗り越えて、これからのそなえを考えよう！～」
コーディネーター：関西福祉科学大学 准教授 南 多恵子 先生
登壇者：深江地域高齢者食事サービス委員会 應武 峰代さん
中本地域福祉活動サポーター 澤江 久男さん
きづくちゃん「たすけ愛」活動の会 衛藤 千景さん
お茶の間わいわい 柳 晴美さん
- ・ 社協だより「ひがしなり」 年2回発行（10・2月）
募金への協力、募金箱設置場所等の周知案内、募金を活用した活動の紹介
- ・ ホームページにおいて地域情報更新（37回/年）

6 ボランティア活動・市民活動の推進・地域福祉推進基金事業（事業活動支出 1,008,556円）

ボランティア活動・市民活動を推進するために、東成区ボランティア・市民活動センターの運営を行い、コロナ禍でのボランティア活動やボランティアグループの活動の支援を実施。

(1) 東成区ボランティア・市民活動センターの運営

ア 運営委員会の開催

第1回 8月8日（木）事務局都合により開催中止

イ 地域福祉活動推進支援助成事業の実施

善意銀行運営委員会、地域福祉推進基金運営委員会の開催により、払出先の審査決定

・20団体へ助成

(2) ボランティア活動への支援

ア ボランティア活動への支援やボランティアグループの活動支援

- ・ 活動の需給調整・相談 945件／依頼件数 25件／活動回数 23回
- ・ 活動に従事したボランティアグループの活動件数 29件
- ・ 活動に従事した個人ボランティアの総数 51人

【ボランティア養成事業】

	開催年月日	事業名称	参加者
1	令和6年10月24日(木) ～12月12日(木)	子育て支援ボランティア講座 (全8回)	22人
2	令和7年3月22日(土)	災害ボランティア講座	10人



(3) 広報・啓発活動

ア 情報発信機能を強化し、広報・啓発を実施。

ボランティア通信（2回）発行

Facebook・ホームページでの情報発信 区社協だよりへの掲載 年1回

Ⅱ 介護保険法による事業

7 地域包括支援センター事業

(事業活動支出 77,733,941 円)

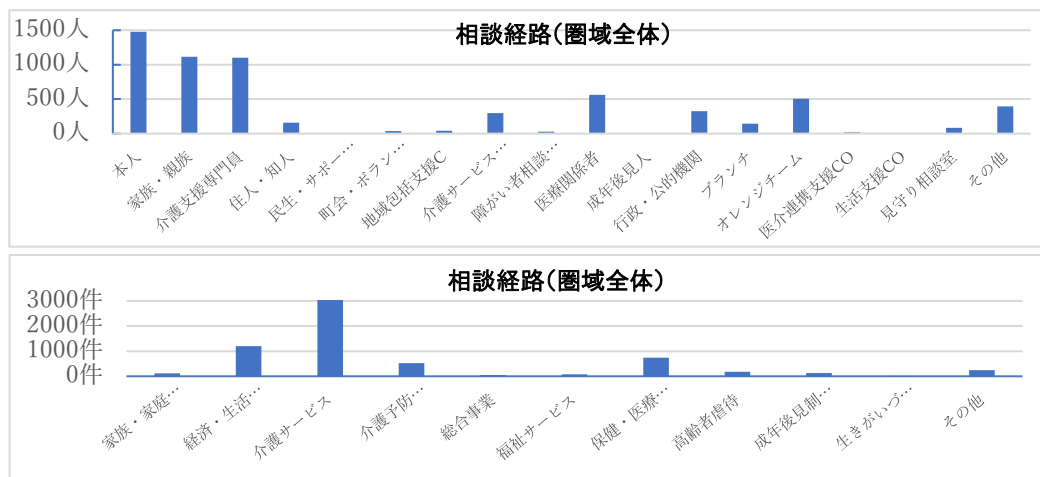
大成・今里・神路・深江・片江地域を圏域とする東成区南部地域包括支援センター業務を平成 28 年度より大阪市から受託している。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、総合相談（個別相談）や地域のネットワークづくりを行っている。

(1) 総合相談

高齢者の総合相談を実施。高齢者の状況に応じて必要な支援につないでいる。

【相談件数】延べ件数 6,323 件 実人員 722 人 （要支援でケアプラン契約者は除く）

【新規相談件数】378 件（月平均：31 件）



(2) 虐待の早期発見・防止などの権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供。

【高齢者虐待】通報・相談件数 13 件（うち虐待と判断したケース 1 件）

【成年後見申立て相談】 4 件

【権利擁護の啓発】東成区多職種連絡会（東成区障がい者・高齢者虐待防止連絡会議）にて研修を実施。

包括・ランチだより(そなエール!)にて高齢者虐待、成年後見制度、あんしんさぼーと事業、悪質商法等を掲載。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員の個別相談を受け、北部地域包括支援センターとともに居宅介護支援事業者連絡会の運営支援や介護サービス事業者連絡会等を開催し、介護支援専門員を支援。

様々な連絡会等に参加し高齢者への支援が切れ目なく提供できるよう課題を共有し活動。

(介護支援専門員への支援) 延べ 1,100 件

(居宅介護支援事業者連絡会運営支援) 執行部会 8 回、連絡会 10 回、計 18 回

(介護サービス事業者連絡会) 連絡会 4 回

(居宅介護支援事業所との事例検討会) 共催 3 回、参加 1 回

(その他) 特養・老健連絡会 11 回、通所サービス連絡会 1 回、グループホーム連絡会 12 回 等

Ⅱ 介護保険法による事業

(4) 介護予防ケアマネジメント

要支援者や要支援状態になるおそれのある方に対するケアマネジメントの実施と介護予防（自立支援）に関する啓発活動を実施。（自立支援）に関する啓発活動を実施。

【要支援 1・2 の方へのケアプラン作成】

・月平均 548 件

	介護予防支援 年間累計	第 1 号介護予防支援 年間累計
包括作成	16 件	15 件
一部委託	4,636 件	2,087 件

(5) 家族介護者支援

【映画上映会】「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」

【家族介護教室】「ピラティス教室（懇談会含む）」（3 回）

【家族介護者の会「ばらの会」の運営支援】会員が高齢のため、開催に至らず。

(6) 認知症高齢者支援

【認知症サポーター養成講座（依頼）】

深江地域、スバルネサンス今里、西日本住宅サービス株式会社、東中本保育所（4 回）

【認知症サポーター養成講座（主催）】キャラバンメイト連絡会（3 回）

【知って得する連続講座】「認知症になっても安心して暮らせる“備え”って？」

(7) 周知・啓発活動

【そなエール！（東成区地域包括支援センター・ランチだより）】

毎月 1,000 部発行。地域、行政・公的機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会等へ配布。

毎月 400 部（班回覧：深江地域、今里地域）

【出張相談会】「そなエール！」9 回開催、場所：今里新道 PATRI

(8) 地域ケア会議

高齢者が住み慣れた地域において自立した生活が続けられるよう、地域関係者や保健・医療・福祉の専門職等が継続的な支援を検討する会議を開催。

【個別支援のための地域ケア会議の開催】

・26 回開催し、18 ケースについて検討。

【自立支援型ケアマネジメント検討会議開催】

・検討会議 6 回開催し、10 ケースについて検討。

・小会議（研修含む）に 2 回開催。研修内容「骨折後のリハビリテーション」

「東成区の社会資源について」等を実施。

【地域課題整理のための地域ケア会議の開催】

・個別支援のための地域ケア会議等から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。

・自立支援型ケアマネジメント検討会議から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。

・取りまとめ見えてきた課題を区地域包括支援センター運営協議会で報告。

Ⅱ 介護保険法による事業

8 生活支援体制整備事業

(事業活動支出 13,650,137 円)

住民の多様な参加、参画により高齢者の社会参加と地域における支え合いをすすめ、高齢者が住み慣れた地域で、自ら介護予防に取組み、元気に暮らし続けることができる社会の実現を目ざし実施。

(1) 地域資源の把握・ネットワーク化

ア 地域の福祉活動や会議、専門職の会議等に参加し、介護予防、生活支援にかかる資源とニーズを把握

地域の福祉活動や会議等への参加	373 回(第 1 層:188 回 第 2 層:239 回)
専門職等との会議等への参加	49 回 (第 1 層:45 回 第 2 層:4 回)

イ 第 1 層協議体会議の開催 1 回 (7 月)

開催日時	内 容
令和 6 年 7 月 30 日(火) 東成区役所 別棟会議室	■令和 5 年度 生活支援体制整備事業の取組報告について ■令和 6 年度 生活支援体制整備事業の計画について

ウ 第 2 層協議体（北部圏域）の開催 2 回 (7 月、2 月)

開催日時	内 容
令和 6 年 7 月 9 日(火) 在宅サービスセンター 会議室	■「“そなえる”私のくらし方」の活用、周知方法について
令和 7 年 2 月 21 日(金) 在宅サービスセンター 会議室	■東成区で暮らしている高齢者について

エ 第 2 層協議体（南部圏域）の開催 2 回 (6 月、12 月)

開催日時	内 容
令和 6 年 6 月 27 日(木) 在宅サービスセンター 会議室	■これまでの振り返り ■地域別の広報物の周知と今後について
令和 6 年 12 月 20 日(金) 在宅サービスセンター 会議室	■広報周知活動について ■アンケートの中間報告について ■地域福祉活動で関わる高齢者について

Ⅱ 介護保険法による事業

(2) 地域資源・サービスの開発

ア 地域福祉活動サポーターと連携したつどいの場づくり、活動に参加しやすい取組みの充実

- ・ 中道地域 「男性料理教室」新規立ち上げ
- ・ 大成地域 「eスポーツを活用した取組み」新規立ち上げ
- ・ 今里地域 「ふれあい喫茶」活動内容拡充

イ 市民活動団体やボランティア、介護事業者や、民間事業者等多様な活動主体と連携したつどいの場、生活支援につながる活動の創出

- ・ 「“そなえる”私の暮らし方」の啓発

地域包括支援センターやケアマネジャー等の専門職や地域住民と話し合いを行い、高齢になっても元気に自分らしく暮らしていくことができるように、今からできる「そなえ」についてまとめたリーフレットを令和5年度に作成。令和6年度は啓発のため、各地域や団体に対して啓発。

(3) 活動の場の発掘・開発

ア 大学生、企業と連携した、新たな活動の場の発掘・開発に向けた取組み

- ・ 地域におけるスマホ講座の開催

スマートフォンを持っている高齢者が、スマートフォンを活用することで友人や家族等とのつながりを絶やさず、情報の取得ができるようになることを目的に開催。

大学生が講師となり、マンツーマンで個別の相談に対応。世代間交流にもなっている。

新たにマンションの集会室で定例開催。

イ つどいの場づくりにつながる講座の開催

- ・ eスポーツ体験会の開催

eスポーツを活用して高齢者の新たなつながりや交流の場づくりを目的に、リハビリテーション連絡会と連携しeスポーツ体験会を在宅サービスセンターと老人福祉センターで開催。体験会にはこれまでつながりがなかった方も参加され、新たなつながりができた。

今後は体験会の参加者が主体となり、定期的にeスポーツができる場の立ち上げを支援。

- ・ 愛ボッチャ審判講習会（初級）の開催

憩の家等でボッチャを活用した取組みが行われており、ボッチャのルールを理解し、審判ができることで主体的に活動に取り組むことができるよう開催。

今後は、福祉教育への協力も検討。

(4) サービス実施情報の提供・周知

ア 知って得する連続講座 ACP編の実施（企画：包括的支援事業連絡会）

在宅医療・介護連携推進コーディネーターと連携し、人生会議・そなえについての講座を開催。“そなえる”私の暮らし方を活用し、地域住民に対して周知・啓発。

イ ケアマネジャーに向けた情報発信

自立支援型ケアマネジメント検討会議において、東成区内の社会資源について情報提供。

ウ 医療・福祉専門職向け情報発信

東成区居宅介護支援事業者連絡会及び東成区介護サービス事業者連絡会へ、毎月「地域のおたより」情報発信

エ 地域住民に向けた情報発信

知って得する連続講座 介護予防編において、理学療法士が紹介した「骨粗しょう症予防」につながる運動を継続できるよう運動チェックカレンダーを作成し、配布。

Ⅱ 介護保険法による事業

9 住民の助け合いによる生活支援活動事業

(事業活動支出 40,191 円)

「介護予防ポイント事業」の活動登録者が、要支援者等に対し、生活援助活動を行うことにより、自身の生きがいがいくつりと介護予防を推進するとともに、要支援者等の生活の質の確保及び向上を図り、地域における住民相互の助け合いの体制づくりを推進することを目的として実施する。

(1) 活動登録の促進及び活動者への支援

ア 活動者が無理なく活動でき、自身の介護予防につながることを理解できる研修実施

- ・ 大阪市社会福祉協議会と合同で介護予防ポイント事業登録時研修（施設活動コース、在宅活動コース）を2回開催し、延べ6人名が参加。
- ・ ボランティア・市民活動センター独自で介護予防ポイント事業説明会（施設活動コース、在宅活動コース）を1回開催し、2人が参加。
- ・ 介護予防ポイント事業（在宅活動コース）登録者 累計 32 人

イ 法人広報紙、チラシ作成、地域福祉活動の場等での事業周知

- ・ 各校下ケアネットワーク連絡会
- ・ 老人福祉センター
- ・ 個人ボランティア/ボランティアグループ
- ・ きづくちゃん「たすけ愛」活動の会登録会員に郵送
- ・ 介護予防教室（マシンを使った運動教室・健康サポートプログラム）の参加者へ口頭で研修の周知

ウ 活動者同士で学び合えるよう、活動者の知識・技術・経験をシェアする場の定期的な設定
助け合い事業の利用状況の報告や会員同士の交流、つながりづくりを目的に「会員のつどい」を開催。

令和6年6月14日(金) 10:00～

令和6年8月9日(金) 10:00～

令和6年10月5日(土) 10:00～

令和6年12月12日(木) 13:30～

令和7年2月20日(木) 13:30～

(2) 利用者への支援

ア 利用対象者の居宅訪問によるアセスメント実施及び活動登録者の活動調整（6件）

イ ケアマネジャーが作成する介護予防サービス計画の確認による、他の第1号訪問事業との同月における重複利用の管理（9件）

ウ 居宅介護支援事業所連絡会参加等でのケアマネジャーに対する事業主旨の促進（1回）

Ⅱ 介護保険法による事業

10 介護予防教室（なにわ元気塾）事業

（事業活動支出 7,427,767 円）

いきいき教室

11 校下の憩の家や地域集会所で、介護予防を目的とした運動、栄養、口腔、認知症・うつ予防、フレイル予防などのプログラムを「いきいき教室」の愛称で実施。

【参加者 延べ 1,575 人】（前年度比+17）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
地域数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
参加者	143	132	137	121	104	133	149	131	140	131	128	126	1,575



運動



お口の健康



栄養

運動教室 独自実施

『マシンを使った運動教室』

マシン（運動機器）を使った運動教室の実施

3 コース（火曜・水曜・金曜）定員：各コース 10 名

場所：在宅サービスセンター 3F トレーニングルーム

第 1 クール（4～7 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：110 人 水：93 人 金：111 人 計 314 人

第 2 クール（9～11 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：107 人 水：107 人 金：105 人 計 319 人

第 3 クール（12～3 月）（各 12 回実施）

参加者累計／火：104 人 水：116 人 金：101 人 計 321 人

【参加者 延べ 954 人（実人数 90 人）】（前年比-12）



マシンを使った運動教室

『健康サポートプログラム』

健康維持を目的とした自分でできる運動と閉じこもり防止のプログラム

3 コース A・B・C（2 週に 1 回・月曜 木曜）定員：各コース 20 名

場所：在宅サービスセンター 3F 多目的室

A クール（4～7 月）7 回実施 参加者累計/月：124 人 木：131 人 計 255 人

B クール（9～12 月）7 回実施 参加者累計/月：123 人 木：119 人 計 242 人

C クール（12～3 月）7 回実施 参加者累計/月：115 人 木：124 人 計 239 人

登録 40 人【参加者 延べ 736 人】（前年比 +30） * 4 クール 5 回を 3 クール 7 回に変更



健康サポートプログラム

Ⅱ 介護保険法による事業

『運動教室 夏の暑さに負けないカラダづくり！夏休み恒例企画 ウォーミングアップ交流会』

8/26・8/27・8/28・8/29・8/30 5日間 定員：各日 20 名

- ① 8/26（月）「初級エアロビ+ボールでリフレッシュ体操」参加者 19 人
- ② 8/27（火）「健康リズム体操+ストレッチで肩こり腰痛予防」参加者 19 人
- ③ 8/28（水）「～脳と身体の活性化～ミニらいとモルックで認知症予防」参加者 17 人
- ④ 8/29（木）台風のため中止
- ⑤ 8/30（金）台風のため中止



11 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護事業

（事業活動支出 3,448,522 円）

要介護 1 から要介護 5 の認定を受けた方への介護サービスと要支援 1・2 の方への介護予防サービス（送迎・入浴・食事・レクリエーション等）を行う。

- ・ サービス提供時間（基本） 平日午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分（送迎を除く）
- ・ 高齢者の閉じこもり防止、ふれあいの場の提供、家族の介護負担軽減等の役割を担う。
- ・ 利用者や家族の要望に応えるサービスとなるよう、実施内容の充実に向け検討を行う。

運営推進会議の開催 2 回（10 月・3 月）／スタッフ会議の実施 12 回（日常の申送りを除く）

- ・ 地域のボランティアグループやサークル活動者との交流レクリエーション
- ・ 手作りおやつなどのクッキングレクリエーション※感染予防対策の強化により実施減少

(1) 実施状況

ア 開設稼働日数 35 日

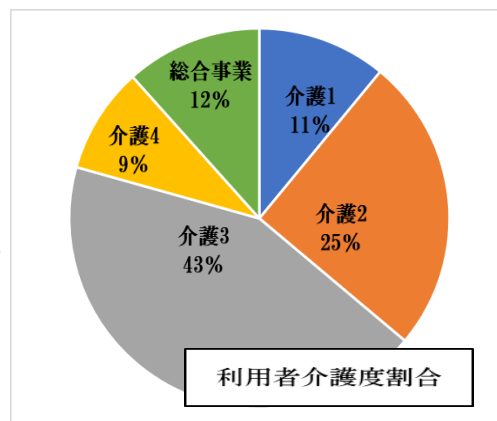
イ 利用人数 延べ 155 人
内訳 地域密着型通所介護 137 人
総合事業 18 人

ウ 研修実施

フロアスタッフミーティング等を活用して内部研修を実施し、情報共有や（資料の閲覧等含む）意見交換を行った。

エ レクリエーション

季節の壁画づくりやクリスマス会などの行事や近隣公園等への外出を含め、好評だった。



※ 通所介護事業は、5月31日を以て事業休止となる。

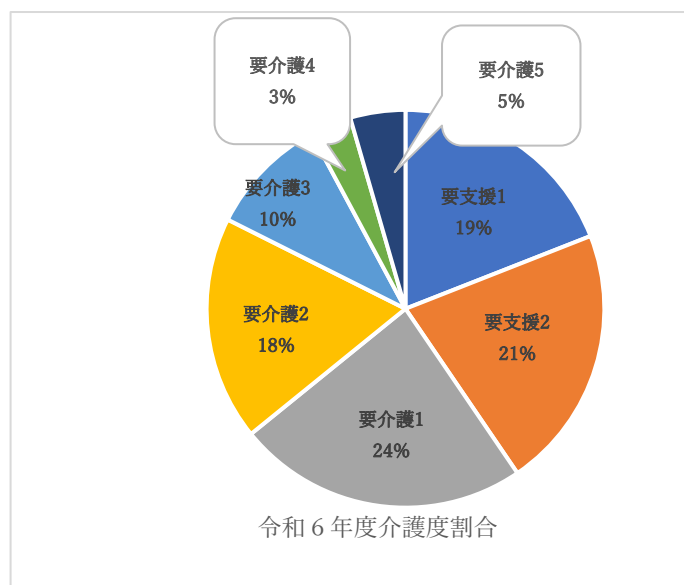
Ⅱ 介護保険法による事業

12 居宅介護支援事業

(事業活動支出 8,149,578 円)

介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の軽減に努める。介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成し、利用者と家族を支援。

列1	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	12	12	21	11	7	2	3	68
5月	9	13	19	12	7	3	3	66
6月	3	10	10	6	6	2	3	40
7月	3	10	10	7	5	1	3	39
8月	7	13	10	7	5	1	3	46
9月	8	12	12	7	5	1	3	48
10月	12	11	11	9	3	1	3	50
11月	13	11	12	11	3	2	2	54
12月	13	12	11	11	4	2	1	54
1月	13	11	11	11	5	2	2	55
2月	14	9	10	11	5	2	1	52
3月	12	10	11	11	6	2	1	53
	119	134	148	114	61	21	28	625



- ・ 東成区居宅介護支援事業者連絡会 毎月1回（年11回）
- ・ 多職種連携会研修（3回）
- ・ 感染症研修（2回）
- ・ 認知症・難病等研修（5回）
- ・ 視聴研修（集団指導・人権・社協等）なども含め10回

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

13 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業（事業活動支出 16,783,989 円）

機能①では、要援護者への日々の見守り活動や災害における避難支援等を目的に、要援護者名簿作成と地域への提供を行った他「見守り活動ハンドブック」を作成・配付。機能②では、機能①同意確認の中から支援につながっていない人や、孤立死のリスクが高い人等をアウトリーチにより支援につなげている。機能③では、認知症等による行方不明者が年々増加しているなか、早期発見のためのメール登録推進と、メール配信先である協力者の拡充及び現協力者にさらに協力してもらえよう、認知症や福祉に関する情報の発信を行った。

(1) 地域の見守り活動への支援(要援護者名簿の整備・管理)(機能①)

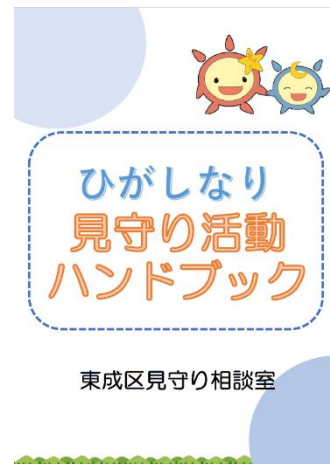
ア 令和6年度：郵送及び訪問による同意確認

【郵送による同意確認】

発送数	同 意	不同意
613 件	458 件	79 件

対象者に一斉に発送。

発送前には地域ケアネットワーク連絡会等での地域活動者への周知や、介護保険事業者への説明を実施。



【訪問による同意確認】

総訪問数	同 意	不同意
754 件	123 件	46 件

訪問により回答が得られない場合、区役所との情報共有や複数回訪問、再度郵送による確認等を実施。

イ 令和6年度までの回答者累積数

累積対象者	同意者数	不同意者数	未回答者数
10,081 人	6,299 人	1,737 人	2,045 人

ウ 各地区民生委員及び校下社協等へ提供した名簿対象者数

東小橋	140 件	大成	287 件	今里	232 件	中道	133 件
北中道	370 件	中本	312 件	東中本	599 件	神路	451 件
深江	452 件	片江	548 件	宝栄	328 件	計	3,852 件

エ 同意者の他、発送対象ではない軽度（要支援1・2/要介護1・2）の方についても名簿を整備し区役所と連携し各地区民生委員に提供した。

オ 地域のゆるやかな見守り活動の活性化に向け「見守り活動ハンドブック」を作成。地域活動者に配付した他、見守り活動に関する学習会や意見交換開催における働きかけを行った。

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

(2) 孤立世帯等への専門的対応(機能②)

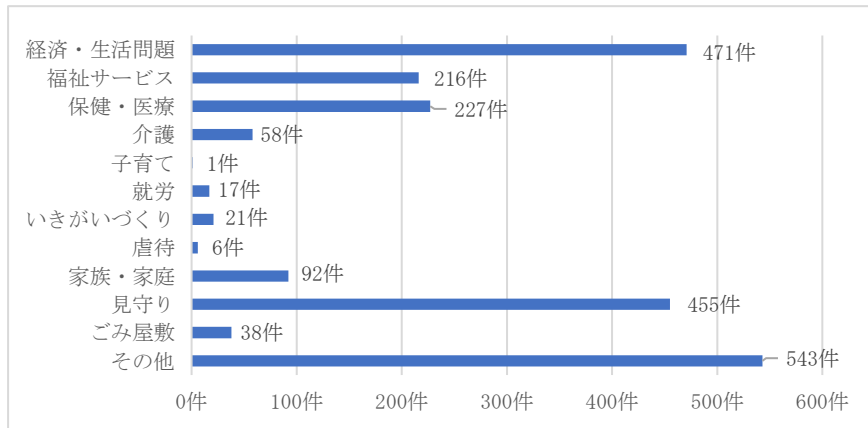
ア 相談対応について

【相談実人員】305人(男性124人・女性175人、その他6人)

【相談延べ件数】

訪問	電話	来所	その他	合計
443件	665件	35件	141件	1,284件

【相談内訳】



※その他については、認知症高齢者等や警察保護に関する相談、個別見守り訪問時の相談等

【相談内容】

- ・ 地域や社会のつながりから孤立している方や制度の狭間に陥るような課題をもっている方への対応を行った。
- ・ 地域住民、関係機関、専門職の情報から支援が必要な方を把握し、連携しながらアプローチを行った。
- ・ 機能①名簿整備の際に知り得た情報から、複合的な課題のある世帯へ粘り強く積極的な働きかけを実施した。

イ ライフライン事業者からの通報対応

- ・ ライフライン事業者からの通報により区役所と連携し、世帯状況の把握と現場での安否確認を実施した。
- ・ 令和6年度は新聞販売店、牛乳販売店、弁当宅配業者より各1件通報あり。3件とも本人が入院していることが確認でき、事業者へ報告をおこなった。

ウ 事業周知チラシの作成

見守り相談室の周知並びに孤立世帯等からの相談につなげるために事業周知チラシを新たに作成した他、事業開始時より利用していた事業チラシの改定を行った。

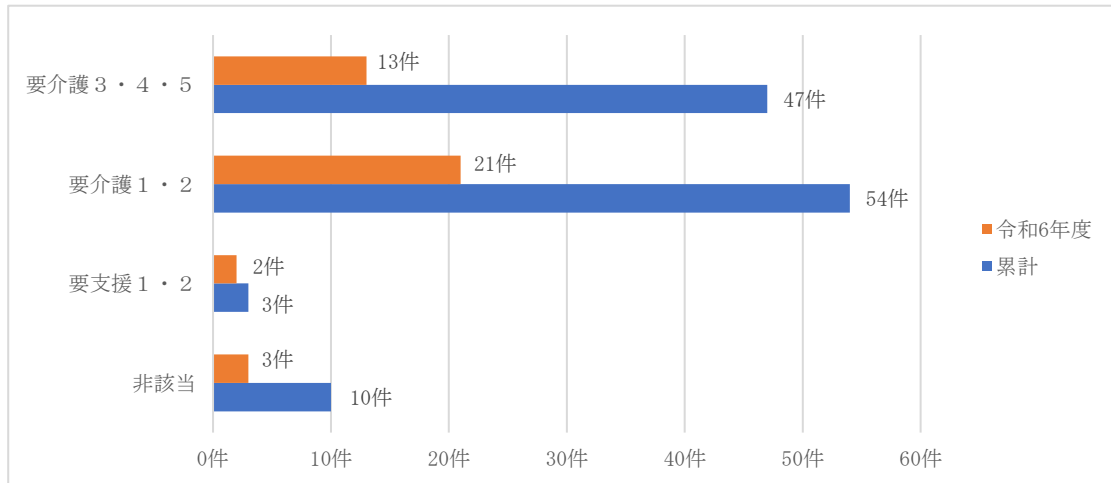


Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

(3) 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見(機能③)

ア 見守りメール登録者数

- ・ 令和6年度新規登録者：39人
- ・ 累計登録者：114人(男性39人・女性75人)



イ 見守りメール配信結果

区内発見	2件	市内発見	3件	府外発見	1件	未発見	0件
------	----	------	----	------	----	-----	----

ウ 警察からの認知症保護事案情報提供

今年度、情報提供のあった事案46件について、保護までの経緯や介護サービス利用状況等を情報提供同意者(家族等)に確認し、必要に応じて、見守りメールやおまもりネット事業の登録・介護サービスへつないだほか、地域包括支援センター、オレンジチーム、地域福祉活動サポーター、民生委員と連携し、情報共有を図った。

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

14 おまもりネット事業を活用した高齢者・障がい者等支援ネットワーク強化事業

(事業活動支出 22,401,223 円)

ネットワーク強化事業は、おまもりネット事業を活用し、高齢者・障がい者等が地域とつながりを保ちながら、安心して暮らしつづけられるようにすることを目的とした事業。

区民の新たなボランティア活動に参加するしくみづくりの推進。

(1) おまもりネット事業の推進

ア おまもりネット事業の推進による「ひがしなり WELL-LINE」

との協働

- ・ 相談件数 年間 402 件
- ・ 新規登録人数 341 人 (内障がい者 5 人)
- ・ 今年度末の総利用者数 6,246 人 (内障がい者 118 人)
- ・ 東成区役所 1 階のふれ愛パンジー、区内の郵便局などの金融機関や病院等において「おまもりネット事業説明・申込会」を開催。
- ・ 障がい者版の広報・周知については、社協だよりなどの広報紙への掲載をはじめ、関係機関や地域集会所等にチラシを設置し啓発に取り組む。
- ・ 登録内容の更新強化月間を設け各校下地域集会所などにおいて、更新受付実施。



(2) 地域福祉活動の推進

ア ふれあい型高齢者食事サービス事業の推進

- ・ ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、食事サービスを行い、ボランティアによる見守り活動やつながりづくりを推進
- ・ お弁当と一緒に季節のお手紙を配布するなどコロナ禍であってもつながり、楽しみとなるように工夫をして実施している。

【高齢者食事サービス事業の開催状況】

月	開催回数	参加者(人)	ボランティア(人)
4 月	19	753	103
5 月	25	983	137
6 月	27	994	144
7 月	23	908	119
8 月	15	565	72
9 月	26	917	133
10 月	24	888	117
11 月	22	826	119
12 月	19	650	84
1 月	16	606	80
2 月	22	777	116
3 月	16	542	73
計	254	9,409	1,297



- ・ 9 地域で実施回数 254 回・参加者 延べ 9,409 人・活動者 延べ 1,297 人

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

イ ふれあい喫茶・サロン活動の推進

- ・ 地域におけるつながりの希薄化という課題の解決を目的に住民がお茶を飲み交流を深め、つながりづくりができる場として喫茶・サロン活動を支援
- ・ サロンの開催にあたり、感染症対策について助言指導
- ・ 10 地域で実施 362 回 ・ 参加者 延べ 6,767 人 ・ 活動者 延べ 880 人

月	開催回数	参加者(人)	ボランティア(人)
4 月	31	664	92
5 月	22	459	69
6 月	38	719	85
7 月	31	594	80
8 月	21	402	62
9 月	31	570	66
10 月	35	567	78
11 月	32	494	62
12 月	30	529	71
1 月	28	555	64
2 月	32	527	70
3 月	31	687	81
計	362	6,767	880

【ふれあい喫茶・サロン活動状況】



- ・ 10 地域で実施 362 回 ・ 参加者 延べ 6,767 人 ・ 活動者 延べ 880 人

ウ 子育て支援活動の推進

- ・ 区内 11 地域で実施され、合計 106 回の活動で延べ 1,642 名の参加と延べ 424 名のボランティアの参加があった。



エ 見守り・声かけ活動の推進

- ・ 各校下で実施しているさまざまな見守り声かけにかかわる活動について、活動者を支援し福祉課題の解決へつなぐ
相談件数…延 267 件



家族、町会長、民生委員及び専門職等からの相談件数

月	件数	月	件数
4 月	21	10 月	11
5 月	40	11 月	14
6 月	37	12 月	12
7 月	21	1 月	27
8 月	22	2 月	21
9 月	12	3 月	29

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

- ・ 地域福祉活動サポーターによる見守り活動

各校下の支援課題に合わせて

「見守り・声かけ活動」を推進。

各校下の取り組み状況に応じて、
地域住民が主体となって課題や支援方法を考えられるように助言・指導

電話による安否確認を中心に行い、気になる方については訪問するなどの見守り活動を行う。

見守り件数…延 4,366 件

地域福祉活動サポーターによる個別の見守り件数			
月	件数	月	件数
4 月	382	10 月	359
5 月	573	11 月	251
6 月	445	12 月	190
7 月	257	1 月	241
8 月	322	2 月	243
9 月	190	3 月	284

オ 前記ア～エについて、それぞれの活動が、つながりづくりや見守り活動として有効に機能するよう連絡会を開催

*各校下において開催された地域ケアネットワーク連絡会開催

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
6	6	6	6	6	11	10	12	6	11	10	90

*ケアネットワーク連絡会において地域活動者と専門職が共有・検討した個別事例数

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
23	15	6	13	13	38	24	27	18	27	51	255

地域の活動から気づき、見つけられた困りごとや、支援を必要とする課題などがしっかりと検討され、地域の見守り活動や専門職の支援として継続的につながっている。

- ・ 地域福祉活動サポーター連絡会の実施 12 回（毎月第 1 金曜日に開催）

(3) 要援護者への個別支援のためのコーディネート業務

地域福祉活動サポーターによるコーディネート（事例紹介）

おまもりネット登録促進のため、地域集会所や憩の家以外の発信場所として地域医療を推進している病院を訪問し、おまもりネット事業の目的を理解してもらうことで出張相談会を実施。普段地域の講座や行事には参加していない住民の登録機会となるとともに病院関係者にも周知ができたことで、地域福祉活動サポーターとの連携強化が図られた。

地域役員に対しておまもりネット出張相談会の経緯を報告、協力体制の構築にもつながった。

(4) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

見守り相談室が行う要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

- ・ 地域ケアネットワーク連絡会を活用し、見守りに同意された方の情報を活動者と共有
- ・ 要援護者名簿を活用し、地域福祉活動サポーター、町会長、民生委員、女性部長など地域役員による個別見守り訪問の実施

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

15 生活福祉資金等貸付事務事業

(事業活動支出 5,306,662 円)

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう実施した。また新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し生活維持が困難となった世帯を対象としたコロナ特例貸付は、令和4年9月に制度は終了しているものの10月からは引き続き猶予、免除、少額・増額返済等を踏まえた全世帯に向けてのフォローアップ支援が行われている。生活困窮者対応、生活課題に対しての他制度等への繋ぎ、訪問、面談、電話連絡、ポスティング等を含む細やかな相談支援をしていき免除等の申請を行っている。

(1) 貸付相談実績（新型コロナウイルスの影響を踏まえた特例貸付けを除く）

- ・ 総合支援資金 25 件（内訳：電話 19 件、来所 6 件）申請受理 0 件
- ・ 緊急小口資金 397 件（内訳：電話 320 件、来所 77 件）申請受理 11 件
- ・ 教育支援資金 168 件（内訳：電話 135 件、来所 33 件）申請受理 5 件
- ・ 生活福祉資金 548 件（内訳：電話 440 件、来所 111 件）申請受理 16 件

内訳合計（電話：912 件、来所 226 件） 貸付合計額 5,078,000 円

(2) コロナ特例貸付相談実績（世帯への貸付）令和4年9月30日で受付終了

貸付相談内容	電話相談	窓口相談	申請受理
償還猶予・免除 フォローアップ支援(4月～)	443 件	114 件	93 件 猶予
			54 件 免除
			24 件 償還可能

＊6カ月間のフォローアップ支援のため電話相談には支援中も含まれている。

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

16 東成区老人福祉センター

(事業活動支出 18,072,299 円)

高齢者の生きがいがづくりや社会参加を支援する地域の拠点施設として、区役所や老人クラブ等と連携し、利用者・区民の方々とともに協働し事業を行った。

【延利用人数】28,920 人 前年度比 193 人減

【利用登録者数】584 人 ※ 新規利用者 101 人

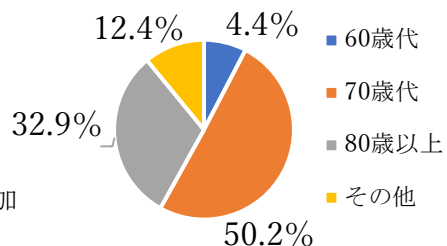
【定例・特別事業】延 427 回 4,861 人が参加

【各種相談】延 2,999 人

【サークル・同好会の活動】35 サークル

延 1,530 回 19,365 人が参加

年代別利用者割合



(1) 高齢者の元気づくり 区拠点としての施設づくり

ア 自主サークル活動の育成と支援・参加促進

事業名	開催回数	参加人数
アロマストレッチ講座	1 回	21
阿波踊り体験	1 回	30
作品展(図書館)	3 回	9
老人福祉センター玄関ギャラリー(常設)	25 回	58

イ 生きがい探求のきっかけとなる講座等の開催

事業名	開催回数	参加人数
いちよう学園	3 回	83
スマートフォン講座 ①②③④	4 回	94
歌ごえサロン東成	6 回	227

ウ 高齢者と家族・地域関係者に役立つ「くらし福祉講座」

事業名	開催回数	参加人数
高齢者の交通安全、特殊詐欺等防犯のお話	135 回	1,832
失敗しない相続の講座と相談会	2 回	48
消防訓練・消防のお話	1 回	35

エ 利用者等との合同での事業企画・行事实施と交流・生きがいがづくりの支援

事業名	開催回数	参加人数
文化祭(演芸大会、作品展、お茶席)	1 回	280
区長杯 グラウンドゴルフ大会	1 回	59

オ 高齢者福祉月間行事

事業名	開催回数	参加人数
大阪市高齢者福祉大会への参加	1 回	2

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

カ 健康づくり・介護予防促進

事業名	開催回数	参加人数
いきいき百歳体操普及講座・おさらい会	4回	90
食と栄養 クッキング教室	1回	21
健康寿命を延ばそう講座(ヤクルト・雪印)	2回	62

(2) 福祉のまちづくり応援 あったか施設づくり【生きがい発信拠点施設づくり含む】

ア 自主的な地域活動・ボランティア活動参加の支援＋広報活動他

事業名	開催回数	参加人数
ふれあい広場	0回	0

＊当日警報発令のため中止

イ 世代間交流の促進

事業名	開催回数	参加人数
さつまいも掘り・贈呈	1回	33
コキア収穫・贈呈	1回	33



(3) 生きがい活動モデルの発信 拠点施設づくり

ア 広報活動

- ・ 「老人福祉センターだより」の定期発行
(年12回毎月1,000部と季刊号年4回発行)

イ 老人クラブ・憩の家の活動支援と協働

- ・ いちょう学園、歩こう会、グラウンド
ゴルフ大会

ウ 相談支援・情報提供・企画発信力の充実

- ・ 「いきいきシニア活動マップ2025」の発行
- ・ 情報紙「すこやか2024」の発行・配布
- ・ 東成だより・区社協等関係広報紙・ホームページでの周知
- ・ サークル活動の作品展示の場を確保(図書館、館内)
- ・ 「高齢者の生きがいと健康づくり総合推進会議」事務局
(事業の企画と運営)



情報紙すこやか



いきいきシニア活動マップ



老人福祉センターだより

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

17 東成区子ども・子育てプラザ ※子育て活動支援事業 (事業活動支出 32,135,686 円)

東成区子ども・子育てプラザを拠点として、乳幼児と保護者、小中学生・高校生が安心して遊べる機会と場所を提供するとともに、講座・イベントの開催、相談支援、地域の自主的な活動への支援を通じて、各家庭での子育て、地域の子育て支援活動を支援した。

【延べ年間利用人数 24,387 人 (1,850 人増) / 延べ相談件数 82 件 (33 件減)】

(1) 子育て活動支援事業

次代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や就学期の子どもたち、子育て支援関係者が集い交流する機会を提供した。

ア 子育て情報の収集、管理、提供

- ・ 『東成区子ども・子育てプラザ通信』の発行。【総発行部数 4,560 部 (144 部減)】
- ・ ホームページを管理、更新し、プラザ情報及び区内の子育て情報を発信した。

【延べ年間 view 回数 22,724 回 (1,579 回増)】

- ・ 区内及び近隣区の子育て情報等を収集し、館内の情報コーナー等を使って提供した。

イ 地域の自主的な子育て活動への支援

- ・ 地域の子育て支援者や団体に対し、出前講座による遊び・環境設定等の助言や、遊具の貸し出しを行い、活動の継続、充実を支援した。【実施回数 66 回 (39 回増)】
- ・ 「子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座」を開催した (城東区共催)。

【全 8 回 / 受講者数 31 人 (7 人増) / 修了者 13 人 (4 人減)】

ウ 子育て中の親子への支援

- ・ 妊産期から切れ目のない支援を図るよう、ステージに応じた講座等を行った。
- ・ 「プレママ・プレパパ講座」を実施した。【実施回数 17 回 / 参加組数 132 組 (27 組増)】
- ・ 「ひよこルーム」を毎週開所した。【延べ参加人数 1,442 人 (355 人減)】



ひよこルーム



なつまつり



プレママ・プレパパ講座

エ 児童の健全育成事業

小中学生・高校生が自由に遊べる場所として「子どもの家」を毎日開所した。

また、児童が自ら学び・考え・主体的に判断できるイベント・行事の実施や、ボランティア体験の機会を提供した。【延べ参加人数 2,477 人 (386 人増)】



クリスマス会



ボランティア体験

オ 地域関連事業

世代間交流事業として「ふくわらいコンテスト」等の実施や、地域との交流事業として「にこにこ広場」等へ協力を行った。【実施回数 6 回 / 延べ参加人数 245 人 (8 人増)】

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

カ 区独自事業及び区・関係機関との連携

- ・ 保育所等への入所の備えのため、利用者支援事業と連携し、相談会、準備講座の実施や「すくすく・つながるフェア」に協力した。【実施回数 7 回／延べ参加人数 119 人】
- ・ 区や関係機関と連携し、区域の大型イベント「すくすく・つながるだいぼうけん」「安全安心フェスタ」等に協力し、実施した。
- ・ 幼少期から絵本になじむ機会を提供することを目的として、図書館等との連携により「おいでよ！絵本のひろばへ～絵本でつながれ！子育てを楽しく～」を開催した。

【延べ参加人数 143 人（14 人減）】

- ・ 区内の子育て支援団体と協働する機会として、「プラザフェスタ」を開催した。

【延べ参加人数 389 人（118 人減）】



すくすく・つながる運動会



おいでよ！絵本のひろばへ



プラザフェスタ

(2) ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり・幼稚園や保育所等への送迎等、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）とを組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務等を行った。

【登録会員数 166 人（20 人増）／活動実施件数 938 件（328 件増）】

ア 提供会員の増員を目的とした「子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座」を開催した（城東区共催）。【全 8 回／受講者数 31 人（7 人増）／修了者 13 人（4 人減）】

イ 会員同士の交流と会員のスキルアップを目的とした交流会・研修会を開催した。

【交流会等実施回数 3 回／延べ参加人数 18 人】

ウ 会員同士の横のつながりづくり、活動へのモチベーションアップを目的に、提供会員・両方会員で構成する「もみじのて」の継続支援を行った。【実施回数 11 回】

(3) 地域子育て支援拠点事業

乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で交流を図る機会として、安心して遊べる安全な場所（つどいの広場）を提供した。【延べ参加人数 13,382 人（1,928 人増）】

ア 子育て支援講習の実施。【実施回数 24 回（2 回減）／延べ参加人数 743 人（26 人減）】



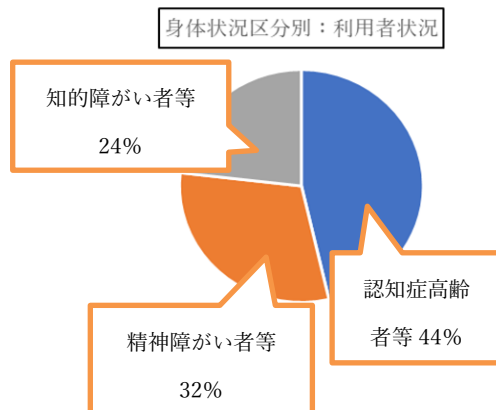
イ 支援が必要と思われるケースについては、子育て支援室等と連携し、情報交換を行いながら適切な見守りや支援を行った。【相談件数 82 件（33 件減）】

ブックスタート事業の実施【実施回数 15 回（1 回増）／延べ参加人数 132 人（47 人減）】

Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

18 日常生活自立支援事業（あんしんさぽーと事業）（事業活動支出 3,038,029 円）

在宅や社会福祉施設で生活している認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、本人との契約に基づき福祉サービスなどの利用援助、日常的な金銭管理を行った。



(1) 利用者状況

認知症高齢者／43 人 知的障がい者／24 人 精神障がい者／31 人 合計 98 人

(2) 相談援助件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
電話・来所(延べ回数)	911	695	1,170	5	2,781
訪問(延べ回数)	1,142	392	648	0	2,182
合 計	2,053	1,087	1,818	5	4,963

(3) 契約締結及び終了件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	不明・その他	合 計
契約締結	10	5	11	0	26
終 了	10	0	2	0	12

(4) あんしんさぽーと相談員の受講研修等

相談員研修 3 回 ／ 相談員連絡会 4 回 ／ 相談員スキルアップ連絡会 3 回
 生活支援員現任研修 1 回 ／ 成年後見制度利用促進研修 1 回
 専門員実践力強化研修（初任者研修） 0 回

- ・ケアネットワーク連絡会において関係者にも周知ができたことで、地域福祉活動サポーターとの連携強化が図られた。地域役員に対してもおまもりネット出張相談会の経緯を報告し、協力体制の構築にもつながった。